

令和8年1月

各都県教育委員会教育長 様
各区市町村教育委員会教育長 様
各 中 学 校 長 様
各 教 育 関 係 者 様

関東甲信越地区中学校理科教育研究会
会 長 薮 島 尚 範
第34回関東甲信越地区中学校理科教育研究大会
埼玉大会準備委員長 山 浦 麻 紀



第34回関東甲信越地区中学校理科教育研究会 埼 玉 大 会 (第1次御案内)

〔大会主題〕 「自然を科学的に探究し続ける次世代を育む理科教育の創造」

〔開催期日〕 令和8年11月13日(金)

〔開催会場〕 ◇開会行事・全体会・公開授業・分科会・記念講演
第1分科会【教育課程】 さいたま市立美園南中学校
〒336-0967 埼玉県さいたま市緑区美園6丁目15
第2分科会【観察・実験】 深谷市立幡羅中学校
〒366-0034 埼玉県深谷市常盤町38
第3分科会【環境教育】 川越市立霞ヶ関中学校
〒350-1175 川越市笠幡72
第4分科会【学習・評価】 川口市立高等学校附属中学校
〒333-0844 埼玉県川口市上青木3丁目1番40号
第5分科会【特色ある理科教育】 久喜市立久喜南中学校
〒346-0029 埼玉県久喜市江面85

〔開催日程〕 (予定)

9:40	10:00	10:50	11:15	11:40	12:00	12:20	13:20	14:25	15:30	16:10	
受付	大会主題 分科会主題説明	研究発表Ⅰ	休憩	研究発表Ⅱ	休憩	研究発表Ⅲ	指導 助言	昼食休憩 記念講演	公開授業	研究協議	閉会 行事

※記念講演は事前配信したものを各会場で流します。
※分科会会場によって、多少変更があります。

〔主催〕 関東甲信越地区中学校理科教育研究会 埼玉県理科教育研究会

〔後援〕 埼玉県教育委員会 埼玉縣市町村教育委員会連合会 埼玉県連合教育研究会
(申請中) さいたま市教育委員会 深谷市教育委員会 川越市教育委員会
川口市教育委員会 久喜市教育委員会 埼玉県中学校長会
さいたま市中学校長会 全国中学校理科教育研究会 埼玉県教育公務員弘済会

〔記念講演〕 文部科学省初等中等教育局視学官

藤 枝 秀 樹 先生

演 題 『 未 定 』

ご 案 内

皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、令和8年度の標記の大会を埼玉県内五地区に分かれ、開催することとなりました。

つきましては、ご多用の折とは存じますが、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。関係各位には、ぜひご参加くださりご指導を賜りますようお願い申し上げます。

なお、理科教育振興のため、関係職員への周知ならびに参加につきましてご高配くださいますようお願いいたします。

〔公開授業者及び分科会発表者、主題一覧〕

教育課程 第一分科会	〔研究主題〕 自然や他者と関わりながら、自らの学びをデザインする教育課程
	〔研究の視点〕 ・探究の過程を通して、科学的に探究する資質・能力を育成する理科指導 ・単元のデザインに、教科横断的な視点からの学びを取り入れた理科指導 ・自らの学びの系統性、社会とのつながりを実感する理科指導 ・地域の環境や人材を活用し、多様な生徒のニーズに対応する理科指導
	〔発表地区〕 群馬県 東京都 埼玉県
観察・実験 第二分科会	〔研究主題〕 科学的な探究を自ら進める力を育成する観察・実験
	〔研究の視点〕 ・自ら問題を見だし、探究する意義や必然性をもてる観察・実験の工夫 ・自然の不思議さや精巧さに触れることができる観察・実験の工夫 ・仮説の実証を目指した計画立案と実施を促す観察・実験の工夫 ・結果を分析・解釈し、根拠のある考えを表現する観察・実験の工夫
	〔発表地区〕 栃木県 山梨県 埼玉県
環境教育 第三分科会	〔研究主題〕 持続可能な自然との関わりを探究する環境教育
	〔研究の視点〕 ・地域の環境や学校の実態を生かし、問題意識を想起する理科授業 ・生命を尊重し、自然環境の保全に寄与しようとする態度を養う理科授業 ・探究を通して、科学的な根拠をもとに最適解、納得解を見出す理科授業 ・実社会での問題と結び付け、日常生活で発揮される実践力を育成する理科授業
	〔発表地区〕 長野県 千葉県 埼玉県
学習評価 第四分科会	〔研究主題〕 探究の過程での自己の学びを捉え、改善していく学習評価
	〔研究の視点〕 ・単元前後での自分の考えや学びの成果を捉えたり、振り返ったりする自己評価の工夫 ・自らの学びの改善につなげられる協働的な学びのなかでの他者評価の工夫 ・一人一人が自らの成長を実感できる個人内評価の工夫 ・生徒と教師が目標を共有しながら、学びを構築していく評価の工夫
	〔発表地区〕 神奈川県 茨城県 埼玉県
特色ある理科教育 第五分科会	〔研究主題〕 自らの探究を通じた学びを豊かにするICTを用いた授業展開
	〔研究の視点〕 ・教材・情報のデータベースを生かし、個別最適な学びを実現するICTの活用 ・教室内での学び合いを促進し、協働的な学びを実現するICTの活用 ・学びの系統性を重視した、単元横断的な学びを実現するICTの活用 ・積み重ねた学びを新たな学びに活用できるスタディログとしてのICTの活用
	〔発表地区〕 埼玉県 及び パネルディスカッション

〔連絡・問合せ先〕

事務局 長 谷津 勇太（埼玉大学教育学部附属中学校）

〒336-0021 埼玉県さいたま市南区別所4-2-5

電話：048-862-6891 FAX：048-865-6484 Email：saitama.rikakenkyu@gmail.com